

大阪府大阪市天王寺区

上本町における祝言のあいさつ

鑄木昌博

○はじめに

1. 対象地の地理的環境：天王寺区は、大阪市の中心部から南に広がる地域で、北は中央区、南は阿倍野区、西は浪速区、東は生野区と接する。調査対象地の上本町8丁目付近は、天王寺区のほぼ中心で、上町台地の上に位置する。
2. 対象地の社会的経済的環境：商業地と住宅地が混在している。1キロほど北には、近鉄上本町ターミナルがあり、繁華街となっている。
3. 生業：中小企業が多い。
4. 交通：調査対象地の西に南北に通る谷町筋には地下鉄谷町線が、東の上町筋にはバスが走っている。
5. 人口：天王寺区全体 55841人（1990・9・1推計）
上本町1～9丁目 4229人（1985）
上本町8丁目 667人（1985）
6. 調査年月日：1990年10月2日
午後2時～4時
7. 方言話者：奥田千代 明治43年5月30日生（80歳）
その他70歳代の男女数名に補い調査を行った。
8. 調査者：鑄木昌博
調査場所：天王寺区老人福祉センター（天王寺区生玉寺町）
9. 調査方法：質問法によった。アンケート法はとらなかった。

I. 結納授受のあいさつ

1. 仲人が新婦の家に結納を持参した時、座敷で、その家の主人（新婦の父親）に向かって、どのようなあいさつをしますか。
○「コノ」タビワ オメデトー「ゴザイマス。この度は、おめでとうございます。（老女→老女，試演）<中><盛>
○「ホ」ンジツワ オヒガ「ラ」モ 「ヨ」ク オメデトー「ゴザイマス。本日はお日柄もよく、おめでとうございます。（老男→老男，試演）<上><かしこまり><盛>
※このようなあいさつは、玄関などでなされるようである。

- 「コノ」タビワ 「サカモト」ケノ 「ダイヒョー」ト 「シ」テ 「ユイノ」オ 「モツ」テ 「マイリ」マ」シタ。この度は、坂本家の代表として、結納を持って参りました。（老男→老男，試演）<中><かしこまり><盛>
- センポーサ「ン」ヨリ 「ゴユイノ」ノ 「オシナオ」 「ゴジサンイタシマ」シタ。先方さんより、ご結納のお品をご持参いたしました。（老男→老男，試演）<上><かしこまり><盛>
- 「イ」ク 「ヒサシ」ク オーサメ「クダ」サイ。幾久しくお納めください。（老男→老男，試演）<上><かしこまり><盛>

※実際の授受に際しては、上例のような、型にはまったあいさつが多いようである。

2. その家の主人（新婦の父親）は、仲人に応えて、どのようなあいさつをしますか。

- 「ホ」ンジツワ 「ト」ーケノ 「タ」メニ 「ゴタポー」ノ トコロ ゴソク「ロー」 「ネガイマ」シテ 「アリガ」トー「ゴザイマ」シタ。本日は、当家のために、ご多忙のところ、ご足労を願ひまして、ありがとうございます。（老男→老男，試演）<上><かしこまり><盛>
- 「ゴテ」ショー「ナ」 「ゴユイノ」ノ 「カ」ズ「カズ」 「ヨロコ」ンテ 「イ」ク 「ヒサシ」ク オウケ「イタシマス。ご丁寧なご結納の数々、よろこんで幾久しくお受けいたします。（老男→老男，試演）<上><かしこまり><盛>

※仲人のあいさつと同様、主人側も型通りのあいさつをすることが多い。

※主人は、結納を受け取ると、1割を仲人に返すことが多い。

- 「フツ」ツカナ 「ムス」メデスガ 「ヨロシ」ク オネガイ「イタシマス。ふつつかな娘ですが、よろしく願ひいたします。（老女→老男，試演）<中><普>
- 「ゴク」ローサン「デ」シタ。「マ」タ オ「セ」ワニ ナリマ「ス。ご苦勞さまでした。またお世話になります。（老男→老男，試演）<中>

※仲人を送る時には、仲人に勞いのことばをかける。

※結納授受に際しては、主人が応対し、新婦は何も言わないのが普通である。

※結納を納めてきた仲人は、新郎の家へその報告に行くことになっている。

II. 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁をもらうことが決まった家の人に道で出会って、近所の人たちはどのようなお祝いのあいさつをしますか。

○「コノ」タビワ 「エ」ライ オメ「デ」タイ 「コ」トデ「ス。この度は、たいへんおめでたいことです。（老男→老男，試演）<中><盛>

○「コノ」タビワ オヨメサン 「モライハルソ」ーデ オメデ「ト」ーサンデ「ス。この度は、お嫁さんをもたらされるそうで、おめでとうございます。（老男→老男，試演）<下><親><老>

○「コレデ」オウ「チ」モ ナン「ダン」ガナ。オチツキ「ハリマス」ガナ。これでお宅も何ですね。落ちつかれますね。（老男→老男，試演）<下><親><老>

2. 嫁をもらう家の人へは、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○ オカゲサンデ 「アリガ」トー 「ゴザイマス。おかげさまでありがとうございます。（老女→老女，試演）<中><親><全年層><盛>

○ オカゲサンデ 「ヤットコサデス」ワ。おかげさまで、やっとうですよ。（老男→老男，試演）<下><親>

※いずれの文例も、ごく普通に行われている会話であると思われる。

III. 嫁に出すことが決まった家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁に出すことに決まった家の人に、近所の人たちはどのようなあいさつをしますか。

○ オヨメサンニ 「イキハルソ」ーデ オメデ「ト」ーサンデ「ス。お嫁さんに行かれるそうで、おめでとうございます。（老女→老女，試演）<中><盛>

○「ゴエンポー」エ 「イキハリマス」ノン 「カ。「サミシナリ

マン ナー。ご遠方へ行かれるのですか。さみしくなりますね。（老男→老男，試演）〈中〉〈親〉〈盛〉

※新婦が遠方へ嫁ぐような場合は、このようなことばをかける。

○「ソラ ケッ コーデス ガナ。それはよろしいですね。（老男→老男，試演）〈下〉〈親〉

○「ヒニチ セマッテ キテ 「オ「カ」ーサンモ タイヘン「デン ナー。（老男→老女，試演）〈中〉〈親〉

2. 嫁に出す家の人、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○ オカゲサンデ 「アリガトー「ゴザイマス。おかげさまでありがとうございます。（老女→老女，試演）〈中〉〈盛〉

○「ドー 「ナルカ 「ワカリマヘンケ」ド 「イチオーワ ナー。どうなるかわかりませんが、一応はねえ。（老女→老女，試演）〈下〉〈親〉

IV. 結婚式当日のあいさつ

1. 結婚式当日、結婚式に出席した人たちは（親戚以外）、どのようなあいさつをしますか。

○「コノ」タビワ オヒガ「ラ」モ 「ヨ」ー 「ホンマ」オメデ「ト」ーサンデ「ス。この度は、お日柄もよく、本当におめでとうございます。（老男→老男，試演）〈上〉〈かしこまり〉〈盛〉

1-2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○「コノ」タビワ 「ト」イ 「ト」コオ 「ムスコノ ケッコ」ンシキニ オイデ 「クダサイマ」シテ 「アリガトー「ゴザイマ」シタ。この度は、遠いところを息子の結婚式のおいでくださいまして、ありがとうございました。（老男→老男，試演）〈上〉〈かしこまり〉〈盛〉

○「イタラン モ」ンデッ「ケ」ド コンゴ「トモ 「ヨロ」シユオネガイ「イタシマス。いたらない者ですけど、今後ともよろしく願ひいたします。（老男→老男，試演）〈中〉〈盛〉

2. 新婦の父親にどのようなあいさつをしますか。

○「コノ」タビワ マコト「ニ」オメデトー「ゴザイマス。この度は、まことにおめでとうございます。（老男→老男，試演

) <中><盛>

- オサビシナリマス 「ネ。おさびしくなりますね。 (老女→老男, 試演) <中>

2-2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

- 「ウチノ ムス」メモ 「ヤッ」ト 「キマリマ」シテ 「アリガ」ト「ゴザイマス。うちの娘もやっと決まりまして、ありがとうございます。 (老男→老男, 試演) <中>

V. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

1. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所の家にあいさつをして回る時、姑はどのようなあいさつをしますか。

- 「コノ」タビ 「ムスコニ ヨメオ モライマ」シタノ「デ ゴア」イサツニ マイリ「マ」シタ。「キョ」ーコト 「モーシマス。この度、息子に嫁をもらいましたので、ごあいさつに参りました。京子と申します。 (老女→老女, 試演) <中><盛>

- 「ドーゾ ヨロシュ」ー オネガイ「シマス。どうぞよろしくお願いします。 (老女→老女, 試演) <中><盛>

2. そのあいさつに答えて、近所の人はどういうあいさつをしますか。

- 「ソレワ ソレワ ゴテ」ーネーニ。それはそれは、ご丁寧に。 (老女→老女, 試演) <中>

- 「ソレワ ソレワ 」オメデトー「ゴザイマス。「ナカムラデ ゴザイマス。「ドーゾ ヨロシ」ク オネガイ「イタシマス。それはそれは、おめでとうございます。中村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 (老女→老女, 試演) <上><盛>

※姑にはあいさつに対する礼を言い、嫁には自己紹介をして、双方に「よろしく」と申し添えるのが普通である。

VI. 嫁を迎えた家の人へのお祝いのあいさつ

1. 10日ほど前に、長男(29歳)に嫁をもらった60歳代の父親へ、結婚式に招かれた50歳代の女性が、昼下がりの路上で、どのようなお祝いのあいさつをしますか。

- コナ「イ」ダワ オメデ「ト」ーサン「デ」シタ。この前はお

- めでとうございました。（老女→老男，試演）＜中＞＜盛＞
- 「ボチャボチャ」ト 「シ」タ 「カイラ」シー オヨメサン
「デ。ぼっちゃりした可愛らしいお嫁さんで。（老女→老男，試演）＜中＞＜親＞
- セン「ダッ」テワ 「ケッコ」ンシキニ オマネキ「イタダキマ」シテ 「アリガ」トー「ゴザイマ」シタ。「セーダイ」ナ オシキデ 「ゴザイマ」シタ 「ネ」ー。オヨメサ「ン」モ 「カイラ」シーテ 「ウラヤマ」シデス ワ。先だつては結婚式にお招きいただきまして、ありがとうございました。盛大なお式でございましたね。お嫁さんもかわいらくて、うらやましいですよ。（老女→老女，試演）＜上＞

※嫁のことを誉めることも多いようである。

2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

- イヤ 「コノ」タビワ 「グソクノ」タ」メニ 「ケッ」コーナ オイワイオ 「イタダキマ」シテ 「アリガ」トー「ゴザイマ」シタ。いや、この度は、息子のために、結構なお祝いをいただきまして、ありがとうございました。（老男→老女，試演）＜上＞＜盛＞
- 「ヨメ ムスコ トモ」ドモ 「ドーゾ ヨロシユ」ー オネガイ「イタシマス。嫁、息子共々、どうぞよろしく願いいたします。（老男→老女，試演）＜中＞
- オカゲサン「デ。「イキトドカン モ」ンデッ「ケ」ド 「ヨロ」シユー 「タノンマス」ワ。おかげさまで。行き届かない者ですけど、よろしく頼みますよ。（老男→老女，試演）＜下＞＜親＞

VII. 結婚式後の仲人へのあいさつ

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦（あるいは両親）がお礼に行った時、どのようなあいさつをしますか。

- 「コノ」タビワ オ「セ」ワニ ナリ「マ」シテ 「アリガ」トー「ゴザイマ」シタ。オカゲサンデ 「ブジニ」シンコン「リョ」コーカラ 「カエリマ」シテ ゴ「ア」イサツ 「カタガタ」マイリ「マ」シタ。この度は、お世話になりまして、ありがとうございました。おかげさまで、新婚旅行から帰りま

して、ごあいさつかたがた参りました。 (老男→老男, 試演)
<上><かしこまり><盛>

2. 仲人は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○「イキトドカン コトテ 「オソレ「イリマス。行き届かないことで、恐れいります。 (老男→老男, 試演) <上><かしこまり><盛>

○「ホンマ ヨロシオマシタ 「ナ。本当によかったですね。
(新郎新婦に) (老男→老男, 試演) <中><親><新>

○ ナカ「ヨ。 「ヤリナハレ 「ヤ。仲良くやりなさいよ。
(新郎新婦に) (老男→老男, 試演) <中><親>

VII. 嫁のはじめての里帰りのあいさつ

1. 嫁がはじめて里帰りする時、嫁ぎ先の親に、どのようなあいさつをしますか。

○「ソレデワ シッカニ 「カエラシテ イタダキマス。それでは実家に帰らせていただきます。 (老女→老女, 試演) <中><普>

○「ホンジツ 「サトノ ホーエ 「カエラセテ イタダキマス。本日、里の方へ帰らせていただきます。 (老女→老女, 試演) <上><かしこまり>

※嫁の里帰りのことを「ヤブイリ」といい、昔は手土産として洋服の生地やハンドバッグを持たせたという。

2. 両親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○「キー ツ「ケテ 「イキナハレ 「ヤ。気を付けて行きなさいよ。 (老女→老女, 試演) <中><普>

○「サトノ ゴリョーシンニモ 「ヨロシク オツタエ 「クダサイ 「ネ。里のご両親にもよろしくお伝え下さいね。
(老女→老女, 試演) <中>

○「ユックリ 「シトイデ ヤ。ゆっくりしておいでね。 (老女→老女, 試演) <下><親>

(大阪教育大学大学院)